

(様式2)

令和5年度 日吉小学校地域学校協議会プラン

1 学校の課題

提言① 外国にルーツのある児童をはじめとする、学習面や生活面で配慮を要する児童への学力定着や社会性の育成を図る。
提言② 児童の安心・安全な学校生活を保障し、豊かな心を育む教育の充実を図る。

2 提言の実働化に向けた具体的な取組(3者協働の場合)

具 体 的 な 取 組			
	学 校	家 庭	地 域
提言①	○学力低位層の実態把握と学習支援の充実を図る。 ○外国にルーツのある児童の支援について、日本語指導教員や担任による学習状況や学校生活の様子について連携を強化しながら支援していく。 ○少人数での放課後学習の場を設定する。	○家庭学習では、学年や習熟度に応じた適切な量と質の学習課題について、学校と確認しながら実施する。 ○ワールドルーム(日本語指導)主催の保護者会に参加し、積極的に学校とつながり合う。	○いきいきふれあいタイムや校区運動会、駅伝大会等地域との活動を通して、学校とつながり合いながら心・技・体がバランスよく成長し心豊かな児童の育成を図る。
提言②	○地域学校協議会等において、児童の実態を説明する。 ○全校教育相談を実施する。 ○地域の方を紹介する場を設け、児童と地域の方をつなぐ。	○学級懇談会、個人面談等で、学校生活での児童の実態を知り、学校での指導と家庭での教育をつなぐ。 ○読書ボランティアによる朝の読み聞かせ(全学年)を実施する。	○横断歩道等、登校の見守りをする。 ○校区人権協議会とつながりながら、保護者への人権同和教育への啓発を行う。

※学校、家庭の2者協働の場合は、「地域」の欄に斜線を引く。

3 児童生徒の成長

〈昨年度〉	〈本年度〉
① 県学力テストにおける D 層の児童の割合:18.6%	① 県学力テストにおける D 層の児童の割合:12.0%以下
② 日本スポーツ振興センター災害給付対象件数35件	② 日本スポーツ振興センター災害給付対象件数30件以下